

塵芥録

聞書
全

和装本

ケ 5

44

79





大坪本流塵芥録

凡塵芥録ト題シタル文ハ塵ハチリ也芥ハウククト割
馬ヲ相スルニ其思レキシ知ル古又其ノ書ニ頭セリ其品
疵曲射押ノ三ツノ思レキ塵芥ノ目シ奉タル故ニ
塵芥録トハ号スルモノ也疵ハ生レ付所ノ体ノ思キ也
曲ハ性ニ稟テ成チニ其相シアラハス度也押ハ右善
相ニモアラス亦思相ホトニモテクノ思レキ方ニ附キタ
ルヲ押トスルモノ也

解譜 疵曲押

上躰成ニ剛解ハ押也然トモ心裏生能、静マリテ必ス
取ク出スヘシ

是ハ其相ハ上躰駿馬ニ生レタルト云凡俾至ニノ
隆ク剛一俾ニシテ過キ物ナレハ生レ強ク乗レカタキ
力故ニナセシ云人ノ中馬ノ類ニシテ押也係ニテ
真田カタ白林六郎カ大栗モナト先願カニ本城寺命也手辛名馬一節等ニ乗者即此意也皆剛一俾ノ強
馬也然凡心息生能ハトハ眼内静ニ腫モ正ク見
惣躰能生レタルハ上手ノ乗人ニシテ乗換シテ落
合和キ心静ニレハ後ニ馳ツ出レテ逸馬ニ至ル
馬モ有ハキトノ義也

然凡心息初アリト静ラヌ馬モアリ服ヲ以テ
心ノ善惡ヲ知ル故ニ專下スル也

由俾ハ押也本来下俾ニシテ息生弱キ馬ハ曲直ル

時ハ無俾トナルユヘ大成押也然トモ管上ノ位ニ坐リ心正直
ニテ曲アルハ馳出ルニ連テ心静ナリ曲直ルヘ大成馳ノ位也

是ハ駒時ヨリ下乗ノ乗人乗換シテ馬ノ方ニ利シ
タル馬ニアルモノナリ其曲シカ利トシテ乗人ニ負
シト其変ツナスカ故ニ俾ノ有如ク見ユレ凡本来
下俾ニテ生弱キハ是シ乗リ折テ曲シ隨テ和
氣直シハ不俾ニナルモノユヘ大成也 押カスル

色紙美ニシテ強キ口中々ハヤクナラレルハ鞍鞍
行ハ弱クナルヘシト読ルモ其馬ノ変也又曲俾
ナレ凡生付上躰ニシテ瞳静ニ見ユレハ心直
ナルカニハ是ヲ上手ノ乗人乗換シテソノ

曲直ハ生質ノ早足出ス也馳出ルニ連シテ心モ
静リ曲モ直ルモノト知ルハレ又大馳ノ位トハ
平馬ノ早馬トナルト云義也

曲悍ニ品有乗人シ表裏テ悍シ出スアリ陰スアリ
僻ニ悍シ出スアリ勞レテ悍シ陰スアリ曰俾

以ノ段ハ曲悍ニ品有ル者又シ説ケリ乗人シ表裏
テ悍シ出スハ直ク難キ馬也是シ内藤流ニハ
石田ノ馬トハ人心ノ馬也人心ノ馬ハ乗ハカラスト
説ルモ馬ニ智有テ乗人シ計リ表裏ヲ指テ云
也隠スアリトハ曰曲悍シ陰シテ居ル馬アリ
又口ニ痛ニテ隠スモアリ乗人弱クテ沈静ス

キテ悍シ出サヌモ有○国忠ノ云隠ス曲アル馬
ハ乗ヨキトニ曲断アルハカラスト説ルモコノ
直也○僻ニ悍シ出ス有トハ○乗人フタツ
ニシテロシイタメ其乗機ホトニアタラカト
僻ニ悍シ出ス直アリ○勞レテ悍シ陰
スアリトハ乗ツカラカレタル故ニ滲後ツヨク
ナシテ心ツトロエルカ故ニ心清カラスレテ其
気裏テ悍シ陰スアリ是シ悍シ陰スト
云也然レ目ノ中能瞳直ニアレハ心モ能悍
モヨキカ故ニ後ニ直クナル馬ト知ルハレ

是直ニ悍ノ品トケリ

面品疵由押

蝦頂押也

是ハ蝦ノ頂ノ如ク見ユルヲ指テ云フナリ面ハ青
貝シ伏セタルカ如クナルヲ指テ上トシ又
牝馬ノ面ノ如アルヲ指テ利トスル也其外ハ
惡シキ也疵ハアラサレモ馬ニ依テ曲ラサス
モノ也

鶴面疵也

是ハ其角細ニコケタ也又三日月内骨ニシノ毛
出タルハ猶惡シク蝦面ヲ免スハ少シ理アリ是
ハ一ヨリ生スルモノハ陽物ニシテ頸アリニヨリ

生スルノモノハ尾有テ頸ナシ蛇形ニ頂アルハ
長余ナル所アルカ故ニ疵ニハナサス押ニ相ス
ル右又也

面ニ肉アルハ曲躰也浮腫面疵也

是ハ面ニ肉アルハ下悍也又ハ曲アリト相ス
ナリ駿馬ノ面ニ肉ハスクナキモノナリ王良相馬
經ニ面ハ小肉ナラシト欲ト説リ依テ浮腫面
疵也氣重キカ故ニ面テ浮腫ルナリ是ハ大
不悍ノ馬也不足ノ相故ニ疵トハスルモノナリ
少肉ヲ言トスト云凡又是ニモ善惡有ルナリ

頭ヲ反ヌト頭ヲ下過ルト曲躰也

是ハ喉シ及ラシ及リスクレハ足本シ不見立
ル故悪シマレテ破ル曲アレハ拘シキカサルモノ故猶
痛フナリ又馬ヨリ立曲アルモノナリ亦頭シ下ス
クレハ響シ喰込曲アリ又踏曲アルモノ故ニ
両攝氏ニ曲射トハ相スルモノ也

三日月骨短ク細ク向挾キハ押也

如此生レタル馬ハ息シフキハラウ食シツク又物ツ
喰フ古又遅キカ故ニ押トスルモノナリ三日月骨
ハイカニモ怒リテ大キナルカハ且キ也又コレニヒト
ツノ傳存三日月骨ハ右ノ如ク生レタリハ腹
先皮膚腹ノ生レユタカニシテ尾下ノ縫目ハ且シ

キハ物喰ヨキモノナリ

盛久保祢押也

是ハ久保祢ハ且保祢ノ古又シカキクケマノ通音
ナリ漢ニ云食糟ノ食也原順之曰食糟ハ和名
ニ宣保祢トクヘリト記セリ其久保祢高過タ
ルシ盛久保祢ト云也是ハ先ノ形悪ク下腮淫
キモノナルカ故ニ押トスルモノ也

落久保祢之疵也

是ハ且保祢細ク落入タルシ云ナリ故ニアキ弱ク
專請アレク物喰モヨカラスニシノ又此用ナリモ
悪シク見ユルカ故ニキストスルモノナリアヤヤ

ワテ首ニ乗懸リタルトキ思シ然凡馬ニ依
テユルレテモ可ナリ

珠目正カラサルハ曲躰也

此ハ生ノ過トモ云リ此所ニ其性ヲ結ビテトワテ
過リアラスカ故ナリ漢ニ壽星ノ過トレテ生
命ノ過トス故ニ此過ヒツレアレハ其方ヘヒスル或
切レモタルモノナリ過下エナキレタルハ込躰
変アリ又上ヘナキレタルハ立曲ソラス又ナト
アルカ故ニ曲体トハスルナリ性命正シカラサルカ
故ニ其相ヲアラス性命正シケレハ其過全ソ
ソナハル故ニ十字録ニモ此過正シケレハ凶

モ轉シテ吉トナルトハ説タリ

眼水過被内過疝也

是ハ眼水ハ滴目ノ過ノ変ナリ此變十字録ニ説ル
カ故ニ此ニ要ス大成モ此也

鼻峯骨ノ兩脇深ク穴ヲレタルハ鼻竅鑿喰スル
者也曲躰也鼻ハ肺ノ司ル所也疾書ニ肺金大
腸鼻皮白ト記セリ

是ハ其馬ノ気子チケテ正ノ性ヲ害ホタガ
故ニ如此其形シ生スルモノナリ鼻峯骨ノ四
面ノ兩脇ツカクサクレタルハトカク気静カナ
ラカルモノナリ故ニ曲躰トハ相スルモノナリ

顔骨上三角立テ離タル如クナルハ物ヲ見驚キスル
者也曲躰也

是ハ顔骨ハ心気ノ登レテ腎精ノ其勇シアラハス
骨也此骨シ以テ悍ヲ論スル也其骨全カ
ラサレハ曲躰トスル也又心気治マラサルカ故ニ
其形シアラハス心気治マラカレハ物ヲ見驚
ク又アルカ故ニ物ヲ見ル曲躰トハスルモノ也
又及馬ナトニ荒キモノナリ

顔骨一方短ク一方長キハ短キ方ハ切ル也曲躰
ナリ

是ハ心正レカラス短キ方ハ心元残ルカ故ニ
其形シアラハシテ短ク生ル也心元より残ル
カ故ニ先エ行心不足レテ腸ハ切ルテアルモ
ノナリ

顔骨内ニ陰レテ見サルハ必ス不悍也押也

是ハ不悍ノ相也地龍之卷ニ顔骨ハ岩ニヌレ抵
ツカケタルカ如クアルモノヲ言トスル也トハ説
具顔骨ニ肉アレハ心重キモノナリ心重キ
カ故ニ不悍ノ躰トス故ニ外曲ノ相ナキハ押ト
スルモノナリ

蓬萊ノ鬚髪下ノ骨高キハ押也

是ハ其骨高スキタルハ面ノ攝アリキカ故ニ

押トスル也又説ニ右ノ骨七クキハ頭掛シハ
スシテアレ、高キハ文字下キハ作リ可也

^{イハヤク}鴛馬位牌作シテ押也

是ハ骨相ニホク久畢竟位牌ニ作テ押ト
スル也漢ニ的駢ト云又天和之昔ニ毛ノ
馬ト云是ナリ先和漢ニ嫌ナリ然レ凡
馬ノ剛強シ用テ強テ其支ニ不拍カ故ニ
駿足ナレハ押トナレ平馬ナレハ嫌フト
相スル一也朝鮮馬方ニモ○白從ヨリ額ノ
上入口ニ名テ曰命前膺一ニ名^命的願奴乘
ハ客死生乘ハ乘レ市ニ大函馬也

命^命 膺^膺 胸^胸也

右以上十五解之内疵四ヶ所曲五ヶ所
押六箇所也

眼品 疵曲押

睫真中ヨリ目尻ノ方ヘカカリ薄ク厚クモ生ル一アリ
又真中ヨリ目尻ノ方ヘ斗リ薄モ厚モ生ルモアリ
曲解也

是ハ本文ノ如ク目額ノ方ヘカカリ其相アルハ畢竟
ノホル気強キカ故ニ其形シアラス其馬ノ生質
ニ依テ立曲及レ曲アルモノナリ亦真中ヨ
リ目尻ノ方ヘ斗其相アルハ是モ馬ノ生

質ニヨリテ込 踏ル心アルモノナリ故ニ曲躰
トハ相スルナリ也

躰惣ニ薄モ厚モ生テ下ハカクリ一様ニ生ルナリ
曲躰也

右ノ如クアルハ気情スルモノ也故ニ其相シア
ラハスナリ是ハ込曲アルモノナリ又イレ気
ナルモアルモノナリ


躰惣ニ薄モ厚モ生テ先ノ及ルナリ 尻ハ事
アリ曲体也

右ノ如ク躰ノ先ツヨク反リタルハ及ル曲アルモ
ノナリ又尻シタルハ止ル曲込曲切曲ナトア

ルモノナリ是モ其馬ノ氣子ヂケタルカ故ニ
其相シアラハシテモ先尻ルモノ也

眼ノ下ニ寸五分ハカリ 筋モニ筋モアリ押ノ
筋助ト云テ押也

是ハ先見タル所アレキカ故ニ押トハ云能
クレシ相シテ知レ其筋アル馬ハ必込曲ア
ルカ其外ノ曲アルモノ也故ニ曲体ニシテ押
ト知ルハレ


眼ノ下如筋筋ヌルヲ音ニテ
クスヒサカリト云テ袖喉
鐘喉響シ筋曲躰ト相スルナリ

上目録ノ上ハ多因ハ曲躰也下目録ノ下無肉モ

曲躰也又眼下薄クコケテ上目縁モ薄クシテ角
立タルハ人シ喰フ也

上目縁ノ上肉多クハレタル如ク見ユルハ曲ヲ含
ンテ居ル馬カクス曲アリ又込曲モアルモノ也
下目縁肉ナキハ友馬ニアラクモテ蹠ル曲又
込下モアルモノ也眼下薄クコケテ上目縁モ薄
シテ角立タルハ人シ喰フトハ壺ニ云カナウホ
眼ト云類也如クナルハ気ヲキツト含テ内ニ
息ヲ含ムカ故ニ其相シアラハス又角立夕
ルハ気ニスルトナル息ヲ所アルカ故ニ其相シ

アラハスモノ也故ニ人シ喰フ曲躰トハ
相スルモノ也

上目尻下ノ急ニ下リタルハ込込ノ曲躰也下目上ノ
急ニアカリタルモ曲躰也

△眼ノ如クナルハ情スル心アルモノナルカ故ニ止ル
心有テ込曲ヲモスルモノナリ止ル心ヨリシテ
ハ向ハシワスレテ脇ノ行心ヲ生スルカ故ニ
赤切ル曲躰ト相スル也下目上ノ急ニ上リ
タルモ其馬ノホル気アルカユヘニ其相ツ
アラハスナリ故ニ反ル立ワノ曲躰トハ相ス
ルモノ也

上目尻、下目尻ニテモ勝テ短ク留リ目尻
向ナキハ曲、辨也

是ハ不意ニ奔走スル心アル馬ナリ故ニ目
尻短ク目ノ内モ尖ニ其相シアラハスナリ
依テ曲、辨トハ相スルモノ也

大目ノ出目小目ノ入目曲、辨也勿論白目多ク
シテ目尻ヨリ物ヲ見返スハ猶悪シキナリ
是ハ大目ノ入目ナルハ眼精強ク宜キモノナリ
大目ニシテ玉ノ上ヘウキアカリ出タルハ氣ヲ
チツカサルモノナリ故ニ是ソ曲、体トハスル
夏ナリ又目生悪ク凡ニ當テ眼シ煩フ

馬モアルモノ也。小目ノ入目ハ見タル所ハ小
目ニ見ヘテ物ニアタラテ眼シ開クハ何事
尤様ニナク小目ニシテ入目ナルハ心ニ悪キ夏
目ニ思ヒ合シテアルモノナリ是ハ俗ニ云カナツ
ボ眼ノ如クニシテ目頭目尻クホシ入テ玉
シスレテ見ユルシ云フナリ如疾ナルハ心氣子
シケテ々々レカフサルモノナリ故ニ曲、辨トハ
相スル也。勿論白目多ク目尻ヨリ物ヲ見
返スハ猶悪キナリ白目多クハ氣勝テマ、口
弱ク精カイナキカ故ニ如レ尤見ユルモノ也其
氣ヤカニナレハ心ツチツカサルカ故ニ物ヲ見

ルナリ又ハ曲切曲シモナスナリ有

瞳子騷キ或ハ瞳子曰クニ付目尻ニ付テ曲解也

是ハ心気ヲチツカサルカユヘ瞳子サワカニキナリ故ニ奔走スル由ナトアルモノナク瞳子

目頭ニ付クハ立曲及ル由シナスモノナリ又

瞳子目尻ニウクハ後ニ心アルユヘ込路ル由ア

ルモノナリ故ニ是ハ何レモ曲解ニ相スルナリ也

目雀落入タルハ騎セ騎人喰フ曲解也

是ハ入目ノ如ク見ヘテ又左様ニハアラステテ

目縁ヨリ落入タル所其相スル人ノ心ニアリ

ク見ヘテ何トヤライヤナルト云眼ニ見ユルヲ

指テ目雀落入タルト云フ也左様ノ馬ハ

心気復シテ悪ク心ニ持モノ也故ニ乗セ騎セ

人ノ喰フ由解トハ相スル也

瞳弱キト目ノ内濁リタルト押也

是ハ心ハ弱キトハ相スル人ノ向ヨリキツト見

タル時馬眼シコタヘスレテ其傍ニキツナスハ

瞳弱キト知ルハ是ハ眼精弱キモノナリ或

凡ニ逢ヒ寒暑ニ然テ眼シ煩フ言又アルモノナリ

然ル故ニ押トスルナリ亦目ノ内濁リタルハ

心気寒サルモノナリ故ニ下得ノ馬ト相メ押ト

スルナリ然レ目ノ内濁リタルニハ曲シナス

馬アル也

作目ノ内へ通りタルト篠突目兩挿トモニ疵也

是ハ作目ノ内へタルハ先相スル所悪クシテ
見コ分シモ見クルシキカ故ニ瘻トスル也上古
ニ是シ目班ト号タル也笹ウキ目トハ馬ノ
時野草ノ内シ越テ薄笹ナトニテ眼ツツ
イタル疵愈テ後ニ其所ノアト見ユルシ
指テ笹ウキ目トハスル也畢竟相スル所惡
キカ故ニ疵トスルナリ然レ其疵不登本
来目性ヨキハ免メテ不苦也中古ニ平山カ
乘リタル目耨毛ト云シ名馬モ笹突目

ノ馬ニテアリシカ庄大切シ得レ馬也故ニ
駿馬ニテ功モナスヘキ馬ニテ本ノ目生ヨキ
ハ用テ宜キナリ

曰輕疵也眼水近ニ同断也

是ハ目ノ縁リニ上ニテモ下ニニモイホノ如ク
モノアル是シサシテ目輕トハ号ル也是シ眼
水ノ近ニ同古又ナルトテ疵トスルナリ眼水
ハ滴目ノ近淚浪其処ニ滴タルニ依テ滴目ノ
近ト号タル也然シ同相トメ痛フナリ
目輕モ其如ク淚滴テ面ニ残リアルカ如ク
見ヨルニヨリテニ疵トハスル也然レ見ハ能

療治~~シ~~ナレシノ用コレハ宜キナリ三種卷ニモ
説リ○眼水ノ近ハ疵ナリ十字録ニ説

目斤上り斤下り或斤服大キニ斤眼小成アリ
疵トイハ凡押ニ准スル也

是ハ能心ツ付テ相スレハ危ノ如クニ見ユルカ
アルモノナリ不ト相シテハ人ノ不知也
疵トハ云ヘトモアヘテ其害ナキカ故ニ押ニ准
スルナリ

合辨ノ傳ハ此サテノ義也

右十五辨之内疵ニテ所由九テ所押ニ所也
但此内合辨アリ口傳其外三種ノ卷ニ記

故ニニ及ニ略ス

耳品 疵曲押

耳山合廣キハ下悍也押也

是ハ云ニシニラサル剛強ナル処ナクハ云ニ所
カ故ニ耳ニシニラスレテ下悍ナルモノ也外ニ曲
辨モナク悍ノヲトリタル斗リナルハ押ト知
ルヘシ

耳長過タルハ下悍也押也

是ハ耳ノ向モセリ耳ノ短キハ駿体ノ一トツ
ナリ亦是ク凡絶合フテ是キハ是ニシ免ス也
○~~三~~ノ耳ニ寸ノ山向○上五寸ノ耳ニ寸ノ山向

中同定ハねハ多ク知ラス○是匹過タルト云ハ純
合ニハスレシニ是キカ故ニ下俾トスルナリ是ハ
胃ノ精ユルシテ発熱スルカ故ニ耳長ク生ル
ト云漢ニ云駢侏ニ云兎馬ト云是也コレモ
悪キ多キハ押ト知ルハシ

耳根一寸ホト閉合ト曲躰也

是ハ曲躰ニシテ疵也耳ノ穴セマクヒラカサ
レハ聞ハカヌルユエ衆人ノ声ヲ聞シラス
教シ覺ヌモノナリ故ニ不固物音ヲ聞テ
奔走シ曲シナス多アルカ故ニ曲躰トハ
ナスモノ也

耳片是ク尺短ハ曲躰ニシテ疵也

是ハ取不足ナルカ故ニ疵トスルナリ勿論切
ルハ曲アリト相スルナリ

耳片太ク片細ハ曲躰ニシテ疵也

是ハ一方太キハ是亦曲体ニシテ疵也以馬ハ
必ス切レ曲シ生スルモノ也畢竟腎ノ精
カタシテ心其方ハカタヨルカ故ニ切レハ
曲アルトハ相スルモノ也

耳細クシテ先尖ルハ曲躰也

是モ曲躰ナリ又馬ニ依テ底口アレハ
ナヤシテ破ル曲ナトツナスモノ也

耳向ノ指耳ニ付ハ押也 曲解也

是又曲解ナリ指耳トハ操糸ノ尖シニ出タル
坪耳ツ付テ物ノ音シトカムト出タル相ト
等キ也是ハ物ヲ見ル相ニシテ又退ル曲ナ
トナスモノ也右ノ曲ナキハ押ナリ免テ可也

耳片方宛立替ルハ曲解也押也

是亦曲解ニシテ押也是モ操糸之卷ニ
出タル切レ曲ノ解也耳シ立替ルハ揃ユル
時必切ル物也ト出タル相ト等キ也立替
テモ生レヨリ曲ナキトキハ宜キカ故ニ概ト
ハナサス押トハスルモノ也

耳片方立片ニカス依ハ曲解也押也

是又曲解押也是モ操糸ノ尖シニ出タル
是又揃ユル時相出スト説タルト等キ也
曲体ナレハ相体宜ク乗懸ニ依テ曲モナサス
直ニ行ハ曲トハナサス押トスル也

耳後ハ強ク尖ニスヘルハ人ハ或人喰フ曲解也

耳ツ尖ニスヘルハ向ハ行相トシテ気早ナル
馬ト相スル也故ニ人ヲト相シ或人ヲ喰フ曲
体トハ相スル也其外乗解ニテモ耳シ
スヘテ解ハ強キモノ也都テ耳解ヲ以テ曲
体又知ル古又ハ操糸ノ尖シニモ詳ニ説各也

若十躰之内疵ニテ所由ユケ所押ニテ所
也但此内合躰アリ其外母麻之表及
常術ノ書録系之表ニ詳也故ニ定ニ
略ス

口廻品 疵曲押

五齒トハ上ニテモ下ニテモ五ウアルシ云云疵也

是ハ俗ニ言ク五齒アルハ五輪ニ對スルト云々嫌フ
尤ニハ水スシカラハ五行ニ對スルト云々嫌フ
ハ又地神五代ニ對スルト云ハ古トセコヤ
是皆俗説ニマ實トナシカタレ○當流ノ
傳ニ云馬ハ地精也夫故馬ノ頭則ニカニシテ

地ノ形也故ニ地ニハ三十六禽ノ精ヲ備フ也
故ニ齒ノ數向齒六枚宛上下合テ十二枚尤
ハ奥齒上下合テ十二枚右ノ奥齒上下合
テ十二枚六ハ三十六枚アリ是地ノ三十
六禽ノ精ヲ則備タル也亦人ノ頭ハ因コレ
ニテ天ノ取ナルカ故ニ人ハ齒ノ數上二十四枚
下二十四枚合テ二十八枚有ハ是レ天ノ二十八
禽ノ象ニ則天地ノ精ニ移ナキカ故也依之
具備フヘキ齒不足ナルハ地ノ精不足ナル
カ故ニ~~尤~~凶馬トスル也○占ニトツニハ九穀不
宜具佳所不定天妻ニ無縁惡相トハスル

モノ也故ニ是シ大疵トハスルモノ也

十齒トハ上下トモニ五宛アルシ云云也

是モモ疵也上モ五齒下モ五齒也前ノ五齒ノ
道理ニ依テ是シモモ疵トスル也

七齒トハ上ニテモ下ニテモセツアルシ云云也

是モモ疵也且ハ又齒ノスキタル也備ヘキ物
ノ不全カ故ニ疵トスルナリ然レモ五齒ホトニ
大凶ニハアツカレトモ凶馬トハ知ルヘモ俗ニ
七齒ハ七本佛ニ對スルナト云ハ誠ニ馬高ノ
者ノ云フ事也然レ或ハ七福神ニ對シ又七
曜ノ精トモ云天神七代ニ對スルナト云ハ

吉トセシヤ左ニハアラス前ニ説ケタルコトシ
地ノ三十六禽ノ精シ備ル所以ニ依テ其
不足ナルハ五齒ト号ケテ大凶トナレスキ
タルハ七齒ト号ケテ凶馬トスルモノ也蓋五齒ニ
亦傳アリ齒ノ生ヘキ所不足レテ不生
シハ其場所ヲ相スルニ大指シ以テ押テ見ル
ニ下ニコタヘテ尖リタルモノ、如クヒ、キア
リテ其馬駿足ナラハ免スヘシ右ノ如ク
コタヘアルハノチ生スルヲモアルモノ也
十四齒トハ上下ニ七宛アルシ云云也
是ハ上下ニ七宛アルシ云也是モ精大キニ

スキタルコハ疵トスルナリ嫌フ者ノ其理前ニ
等キ也

齒上下トモニ三歳ヨリ六歳ニテ内角下アルハ物喰
忍キ也押也

是ハ齒ノ精弱キカ故ニ危ノ如クアルモノ也
齒弱キカ故ニ物シカムニ用捨アル故ニ物食
遅キト知ルハ別テ武士ノ馬ハ物食早キ
シ言トスルカ故ニ遅キヲ押トスル也

但六歳ニ至テ兩角ニ生スル齒ハ内ノ方
ヒクキモノ也其方外ト等ク立合タル
ハ七歳トスルナリ故ニ六歳齒ノ内ノ立合

サルハ若カ六歳ニ至テ是ヲ世ニ云未ダ立
揃ハ右六歳ト云ナリ立合タルシハ老六歳
ト世ニ云トモ是ハモハヤ七歳ト知ルハ

上齒ノ如ク下齒大成ハ人ヲ喰フ由躰也

是ハ上齒ハ危ヨリ腎ノ精衰ニテ其形シ
ナス陽ハ陰ヨリ大ナルカ故ニ上ハ齒ハ大イ
ナルモノ也下ハ右ヨリ腎ノ精衰ニテ其形シ
ナス故ニ上ノ齒ヨリヤシ小キ也陰ハ陽ヨリ
小ナルカ故也然レニ危腎ヲ侮テ右腎盛
キカ故ニ下齒大キク生ル也レカルトキハ
其齒ノ精衰スル故ニ人ヲ喰相トハスル

モノ也

齒切齒敲ノ人シ喰フ曲ノ躰也

是ハ齒切トハ齒シキリクトカム直也齒敲
ハ上下ヨリ合テユチクト音スル直也是ハ腎ニ
憑熱有胃經ニ憑熱有レハ如坎ナスモノ
也故ニ物ニ嚙付テ其齒ノ動テ氣ヲ散シ
スルハ心ヨリ思テ人シ喰曲トハナルモノ也依
之人シ喰曲躰トハナスノ也

唇上下薄ク齒ノ見ユルハ人シ喰フ曲ノ躰也

是ハ唇シヨクワリタル如クアルモノ也唇ウ
スキカ故ツ子ニ齒クキニ中テ憑熱血ヲ

生スルカ故ニ物ニ喰ヒ付テモレモ齒ノ動テ其
氣ヲ散シテ心ヨリ思ヒ悦ブヨリモテ人シ喰
曲ヲ生スルモノ也

唇ニ毛ナキハ何臥ノ曲躰也

是ハ唇ニ毛ナキハ憑熱シ舎カ故ニ唇ニ毛ナ
シ憑熱アルカ故ニ水ヲ見テ則驚馬テ伏ス水
尅火ノ理ニシテ人ノ眩暈ノ重キトヒトシク
則倒ラ水底ニ伏モノナリ右ノ理ニ依テ是ヲ
何臥ノ曲躰トナスノ也

口黒ノ馬ハ生短命也疵也

是ハ馬ハ都テ驥ノ外ハ口ハ黒キモノ也故ニ

是ハ口ノ内ノ黒キハ生短命也下云義ナリ
文字ノ思宜様不足ナルカエハニ唯口黒ト
云ニハ通シ難シ漢ニ駉驥 是也牛ハ
北ノ方ノ獸ナルカ故ニ口ノ内黒キヲ言トス馬ハ
南方ノ畜ナルカ故ニ口ノ内赤キヲ言ト
スル也ノ馬徑ニモ口黒也シノ嫌口色ヲ論ルニ
口中ハ桃花ノ如シト出タリ故ニ口ノ内黒
キヲ嫌フ其南方ノ精尅シテ火ハ水ニ負
カ故ニ右ノ理ヲ以生短命トハスルモノ也

口ノ内赤ノ如クナルハ何臥ノ曲辨也

是ハ口ノ内シ漢ニ臥蚕ト号ラテ爰シ以テ

馬ノ病根ヲ知ル也前ニ説タルユトク甘色
桃花ノ如クアルモノヲ指テ士口トスル也然
ルニ朱ノ如ク見ユルハ惡熱アルカ故也其
惡熱ヲ以テ水ヲ見テハ水底ヲ好コテ
伏ス曲シナスモノ也

口深ク裂タルハ押也

是ハ不悍弱口ノ馬ト説リ故ニ是ヲ押トハス
ルモノ也然レ其儀ニ據ニ難云係ニハ淺ッ
吉トス漢ニハ深キヲ言トス又深キニ悍
能キモアリ大抵深口ナル馬ハ四調ニ移ルホ
ト口趣惡敷クナルモノ也

同口唇淺ク裂片深ク裂タルハ深キ方へ切ル
曲躰也

是ハ書面之如シ其深キ方へ切ルハ氣ノ其
方ニ片ンスルカ故也又深ク裂タル方ハ真齒
ナカキユヘ其方ノ齒ニ害ヲカケルトキハ
葉ヲナス故ニ曲體トハナスモノ也

口皮厚キハ口強クナル者也人シハ一アリ押也

是ハ生得口皮ノ厚キハコトイタマサルカ故ニ強
口ニナルモノ也又口屈キニヨリテ馬ニヨリ
人シハ曲モ出来ルコトアルモノ也然レ幸シ
セサレハ免テモ不苦故ニ押トスルモノ也

同口皮片厚ク片薄キハ厚キ方へ切ル隅口ニシテモ
其方へツキカケ廻リカヌルコトアリ押也

是モ右ノ如クニ口皮厚キ方ニ氣片ニ
スルカ故ニ切ルハ曲廻リカヌル曲アルモノ也
是亦右ノ曲ナキハ免シテ可也故ニ押ト
スル也

两口吻ニ般多キハ人シ喰ヒ或人シハ也曲躰也

是ハ口皮和カシテ般ノ如シアルハ宜キナリ
寤ノ躰トスルナリ口皮厚クシテ雖過タル
ハ奈シテ行時口ニカシ出スカ故ニ人シハ
曲又人シ喰フ曲アリトハスルモノ也

出肉口廻り

是ハ疵也トハイホノ如ク小サナルモ大ナルモ
アルモノ也相スル所見苦キカ故ニ疵トハスル
モノ也然レ小サキウチニ針入療治ナス時
ハ愈ルテアリ

鯨口廻り

是モ疵トスルナリ内股陰囊尾下其角先
ホウナトニ有ルモノ也相スル所見苦キカ故ニ
疵トハスルナリ是亦早ク之瘡治シナスト
ハ愈ルモノ也

鼻片上り片下り穴片廣キ片狭キアリ何

レモニ疵也

是ハ相スル所ノ患シク又息ヲ吹出スニ患キ
カ故ニ息合フ心有テ不宣カユヘニ是シ疵
トハスル也

右十九躰ナリ其内疵ハ所曲体セテ所
押四ヶ所也

平頭高曲押

平頭惣躰短カクシテ平キハ押也

是ハ首長ク胴ノワマリタルヲトスルカ故
ニ故ニ首ノ短キハアリキ也然レ尾疵ニハ
亦ス純合タル由尺ナル時ハ是シ免スハ

シ平頸短ク平キハ首強キモノ也首強ケ
レハ返スニ遅ク亦曲シナシタル時折曲
ル手短キ、カクキモノ故ニ是シモ押ト
ハスルモノ也

下首長ク上頸短キハ大成押也

是ハ大ナル押也上首ハ長ク下首短ク夕
ルハ駿解ノ一ツニシテ暑トスルカ故ニ下首
長キハ悪シキ也如以生シタル馬ハ吃及シ
シテ足本ナシ見スレテ是ル故ニ是ハ成
又馬ニヨリ人シ引直アルカ故ニ大キナ
ル押トハスル也

平頸薄クシテ首ノ根ニ肉ナキハ曲解也

是ハ平頸ハ薄ケレハカナシ夫ニ首根ニ
肉ナケレハ猶以テイヨク弱キカ故ニ乗
操アシケレハ根首ヲ引折痿曲シナシ
或ハ隅口悪シクナルモノナルカ故ニ是シ
是シ曲解トハスルモノ也

首肉曲首兩様トモニ疵也

首肉アレハ頸重クナツテ下頸ノ馬ト
ナルモノナルカ故ニ疵トス又曲リ頸ト
ハ首肉多クカレハ終ニハ上首ノ左右
上曲ル直アリ是首肉ヨリハ猶アレキ

力故ニ大キナル疵トハスルモノナリ
但少肉ハ馬ニ依テ免メモ可ナリ

鬃中ニ役門過。奔狂過。無門過。頭中過。前
塞過。破門過。遷喪過。勢門過以上九旋モ
疵也

此以上九旋モハ各疵也其ノ段者十字録ニ
季細ニ説之ルカ故ニ今爰ニ畧ス

右十四躰之内疵十一箇所由体下所押ニテ
所也

之有襟品

三枚骨長鬃ニ上リタルハ押也

是ハ三枚骨ハ鬃者甲ト坎子骨也其鬃
甲骨坎子骨ト同シ如クニ長双ニ上リ
タルハ肩ニ疵ナキカ故ニ是後進クハカシ
トテ又馬トシテ押トハスルモノ也

三枚骨内疵カサルハ押也

是ハ鬃者甲坎子骨ハ三ツハナレタルヲ上ト
スルカ故ニクワロカサルハ押也

鬃者甲骨ノ下ノ方ニ角立タルハ疵也

是ハ角立タルハ疵ト云フハ肩骨ノハツレ
ク角アルト云フ也其所ニ角アレハ肩
シスルモ又アルカ故ニ終ニハ其所ノ皮ツ

スリ切テ疵トナルモノ也エニハ尠尠尠ナト
ニアルモノ也

肩斤下り疵也

是ハ九リニテモ右ニテモ斤鬘甲骨下り
タルカアルモノナリ何レニテモ疵也

襟直違サルハ押也

首ト胸トキレチカイタルシ襟直違タ
ルト云寢キヨキモノ也其曲人ノアシキ
ハ前クツロカサルカ故ニ襟スチカハサル
シハ是シ違キ弊トシテ押トハスルモ
ノナリ

拍毛ナキ馬ハ大疵也

是ハ前ニ拍毛シ生レ後ニ芭蕉毛シ生ス
額ニ寿星ノ辻シ生スルハ馬コトノ精ナリ
シカルニ其アルハキ辻ノナキハコレシ大キ
ナル疵トスルナリ又垂ニ沓形トモ云也
其辻ハイカニモ正レキシ吉トス

胸ノ両ノ生登リヨリ平頭ノ方ハ右ニテモ左ニテ
モ芭蕉毛ノ如クモ縁^{モウ}レテ生登タルハ曲弊也

是ハ世ニキタルト云ニテ嫌ハ凡喪門ニハ
アラス曲弊トスルモノ也或是シヤル
曲ノ亦棄セ弊ノ心アリ其外ノ曲シモ

ナス丁有ルモノ下知ルハシ

同兩ノ生及リ一方ハ長ク一方短キモ曲躰也

是モ曲躰也切ル曲カ或ハ上指ス古又ナド

モアルモノナリ是ニ依テ右拍毛正レカ

ラカルハ嫌フ也

押過リ楚別ト喪門ト鬼門ト浪門ト以上

五旋毛疵也

是ノ五旋毛シ嫌フ一其理リ十字録ニ

説之

右十三躰ナリは内底ハテ所曲体ニテ所

所ニテ所也

洞品ニ疵曲押

洞 伸過タルハ疵也

是ハ洞ノ伸スキタルハ背溝入ルモノナリ

遠行ニ破ルハ馬トス故ニ疵也唯洞ノ

伸タル斗ニ骨ノクナリ強ク背溝

モ入ラサルハ是シク免ス

馬ノ驚ハ原大者ホクク弱背大腹小脛大爪

駟 大疵也

是ハ漢ニ駟馬ト云大和ニ背繞馬ト云

和漢凡ニ是シク嫌フ也駟ノ時背ノ伸

スキタル馬ノ腹大ナルハ背繞ニナル

知ルヘシ是五鬐ノ内也

海老脊押也

是ハ背中高ノ馬也相スルニ取ニ依テ海
老脊ノ馬ニ早キアリト云韃下ヲヤカ
ナレハ宜キ也韃下淺ケレハ押也漢ニ
馱北ト云和ニ海老脊也又漢ニハ答言
タリ和ニハ馬ニ依テ好美シ亦馬ニ可
ツニ是ソ抑トズル古也

腰伸 過テ細ハ疵也

是ハ腰ノ伸スキタルハ而會伸テ弱キ
也必ス尻ツスル馬トシテ遠行ニ疲

ルモノ也又相スル所モアシキモノナリ

是ニ依テ疵ヲ知ルヘシ

鴨腹疵也

是ハ鴨ノ腹ノコケタル如クアルモノナリ
如共ナルハ病馬トナルモノ也又サレハ患
腹ヲ煩フ相トシテ嫌之ナリ

太腹ノ馬押也

是ハ腹太ク背弱キハ駑ナルカ故ニ取ナリ
又背ハ強ケレモ腹太スキタルハ抑ト知
ルヘキ也

寔骨片方下支アリ大疵也

是ハ左右何レニテモアレカレサノ如ク生
レタルハ其短キ方ノ骨ニテアレカレシ
サノ如ク生シタルハ口ハ短キ方ノ骨ニテ
腑ヲ打テイタム又アルカ故ニ是ヲ大底
トス相スル所モ悪シキモノ也

折骨皮腹ニ當ルハ押也

是ハ如ク生ルレハ馳ニ至テ馬カセク時
其内骨ニ皮腹ヲ打テ痛カ故ニ馳ノハカ
シトルヲナシヨウテ是ヲ押トスル也

芭蕉毛生登リ先胸ノ方ハ曲リ生留ルハ
曲解也

但芭蕉毛細ク生登リタルハ疵也

如クナルハ馬ニヨリ不意ノ曲シ登スル又
アリ胸ニ氣シ含ム馬トシテ曲解トスル
モノ也又其辻ノホリ過タルハ相スル所
モ見苦キカ故ニ是ヲ疵トハスルモノナリ
又細ク生登リタルモ嫌フ也

袖雜レサルハ押也ニ重皮切上ラサルモ同前也
上解ニ押也

是ハ神ハ前ニ付根ノ小肘ノ変也其
所胸ニ雜レタルハ早キ相也雜レサルハ骨
皮ツルカ故ニ是ノ延出ス変カイ在

二上躰ニハ押也又ニ重皮ハ後ノ股ノ舟
振腹ト股トハ引ハル皮也其所キレエリク
ワロキタルハ馳早キモノ也切レ上ラサルハ
遅キカ故ニ是モ上躰ニハ押トスル也右兩
躰ニ平馬ニハ免スヘシ

物ニ皮懸リ厚キハ疵也下俾ノ馬ト知ルヘシ

是ハ物躰ノ皮懸る厚キハ疵ナルトハ氣ノ
廻リ不足ナルハ皮厚キモノ也故ニ下俾ノ
馬トシニ疵トス然レモ馬ニヨリニ押ニモ
准スヘキカ

同物皮懸リ薄過ラモ細キハ曲躰也

是ハ物皮懸薄過ラモ細キハ曲躰トスル意
ニ奔走ナトスル曲アリト云リ

芝引^{芝引ノ下ノ方ニ有}過下門^{芝引ノ下ノ方ニ有}帯^{芝引ノ下ノ方ニ有}釵^{芝引ノ下ノ方ニ有}多^{芝引ノ下ノ方ニ有}太^{芝引ノ下ノ方ニ有}死^{芝引ノ下ノ方ニ有}寸^{芝引ノ下ノ方ニ有}四^{芝引ノ下ノ方ニ有}旋^{芝引ノ下ノ方ニ有}毛^{芝引ノ下ノ方ニ有}疵^{芝引ノ下ノ方ニ有}也

其ノ四旋毛皆疵也委クハ十字録ニ記之カ故
ニ爰ニ略ス

右十八躰之其内疵トナス所十ニ所曲躰

ニヶ所押トナストエロ六ヶ所也

尾廻品 疵曲押

百會^{百會ノ骨ニ高キハ}押也惣而足指ヨリ^{百會ノ骨ニ高キハ}繩ノ高
ハ押也

如此ナルハ尾ナリノアレク^{如此ナルハ尾ナリノアレク}腰弱キモノ也

開
三爪押也

故ニ百會ハ平カナラント欲スト古人モ記
セリ何ニモ百會ノ高キハ押也又尺指ヨリ
躬ノ高キハ押トハ百會ハ前尺指ヨリハ
一寸下リナルシ吉トスルカ故ニ後高キハ
押トスルナリ後ノ夕カケレハ前押ニナツ
テアシキカ故ニ是シ押トハスル直ナリ

折
三頭押也

是ハ百會ノ骨ヨリ目取ノ骨ノ向伸スキ
テ開テ付タルシ云是地ホスハツテ蹄付
弱ケレハエテ倒ル、直アルモノ也又如
ナルハ必ス尻ノ肉克テ肢細ニ見ヘテ
弱キカ故ニ押トハスル古又也

挾
三頭押也

是ハ百會ニモ角立テ曲ニ見ハ又右左ノ
目取ノ内骨モ角立テ曲テ見ユルヲ云ナリ
先相スル所アレキカ故ニ是ヲ押トスル也
又肥カ子丸モノ也

是ハ百會ト目取ノ向挾キヲ云ニ爪ノ向
挾ケレハ尻取リ取立スハリニ成テノ世ニ云
板尻ナクト云フモノニ是ヲ擡フ直也
又馬モウスク見ユカ故ニ是ヲ押トハスル

モノ也如女ナルハ必肥サルモノナリ依テ
ヤセ馬ニニヨク知ルモノ也

兩三頭ノ内片下リニ付モアリ是片ニ及ト
云此也

兩三及トモニ落入古又アリ馬捨ル也

是ハ女ノ文字ノ置據アレキナリ兩草及ト
作ルヘシ古キ書ニ草頭ト出タルハ三頭ノ
支也女ノ文談ハ目取ノ骨ノ片下リニ付

又落入りタルト云フニ此トハ相スル義也

然ル故ニ三頭ニ作テハ聞ヘカタレ仍テ
草頭ニ作リタルカ宜キナリ馬野草ノ

深キ所ヲ翔ル時ハ其内骨草ノ上見ユル
カ故ニ草頭ニハ作ル也其草頭片下

リ付クラ斤草頭ト云テ此トスルナリ
又後曲ニテ解散悪ク見ユルカ故ニ疾

スル也兩草頭落入タルトハ兩目取ノ
骨メリ込タルヤウニ離シテ見ユルヲ云

ナリ是ハ後ニハ腰立古又難成シテ馬
捨ル古又アルモノナリ仍之是ハ大キナル

此也亦カ頭ニ作タルモ宜

掉尾此也

是ハ尺指ト百會ノ方掛後シニシテ尾ノ

方尖ニテ細キシ指ニ痺尻ト云相スル所
悪クシテチチ一見タルニキカ故ニ是シ病
スル吉又也

百會ヨリ接脊上リ過タルハ押也

是ハ腰骨ノ胸骨ヲクサル骨也此骨百
會ヨリ高キハ逆ナルカ故ニ悪キ也靴下
ツスル吉又アリ故ニ押ト知ルべし
尻尖短カキハ病也

是ハ尻懸ノ當リ尖ニ短カキハ相スルト
コ口後見クルレキカ故ニ是シ病トハスル
モノナリ

入尾口病也

是ハ尾ノ本股ノ間ハスホソテナハテ入り
タルシ指テ云尾ニカナク見一テアシク
又馬ニヨリ踏ミアルモノナルカ故ニ見
シ病トハスルモノ也

出穴病也短余ノ馬也

是ハ短余ノ馬トハ穴ハ臟シ有ハノ所也
故ニ出ルハ猛弱シ猛弱キハ精弱キカ故ニ
是シ短余ノ馬トシテ病也

白穴大病也外白穴内白穴アリ悪敷也

是ハ外白穴内白穴アリ何モ病也漢ニ

驪馬白列馬ト云也大キニ是ツ嫌フナリ
燕ハ陽ニ来テ陰ニ去ル也陽去テ陰ニ帰ル
其鳥ノ如ク穴白キカ故ニ嫌之燕ト云
モノハ巢ニ糞シ入レス穴シ外へ出シテ
糞シナスカ故ニ人其鳥ノ白キ穴ヲ知
ル其如ク白穴ハ先相シテ人知ルト云
フ心也又驪馬ニ作テ陽シ去テ陰ニ帰
ルノ儀理モアリ其ノ馬ニ乗レハ必ス生
陽棄テ大陰ノ国ニ行ト云フ心ニ驪馬
ニ作り白列馬ニ作ル列ハ国ト読リ
白ハシロキ也死メ白シ者メ其列ニ行

ト欲スルトノ義也仍之大キニ嫌也大
疝トスルナリ又外白キハ驚ナトニテ
然ノ如クアル疝有夫ハ医療シテ是ツ
治スル一モアリ内白穴トハ内ノ方ヨリ
白ク筋出テ外へ行タアリ是ツ本白穴
ト云アシキト知ルヘキ也或人ノ云白穴
ノ馬ハ其白キ所目ノ内ニ通テアシキト
云ル説アレハ疝ニハ疝ス陰ノ白ハ凶ニシテ
陽ノ白キハ吉ナル理シ以テ是ツ嫌フト
知ルヘシ

陰脈白疝也短命ノ馬也

是ハ陰脈ノ白キハ生短命ト知ルヘシ漢ニ
陰脈和ニサヤフ子ト云黒カルヘキ腎ノ
精ノ本白キハ其精薄シ故ニ短命ナリ
又相スル処見クルレクモア儿カ故ニ是シ
疵トスルナリ

大陰囊片陰囊疵也

是ハ大陰囊ハ走ルニ遲滯スルカ故ニ惡
シ又相スル所モ見クルレキカ故ニ嫌フ也
片陰囊ハ片方斗囊有テ玉皮肉ニ
カクル、ラ云フナリ是モ相スルトコロ
惡シキ疵也

陰囊ニ毛ナキハ何臥ノ曲躰也

是シ曲躰ト相スル者又ハ腎ハ水也其水
熱シ含テ毛生セサルカ故ニ水シ見テ其
狹ク醒ナントテ則伏ス曲シ生スル者
ト知ルヘキ也

縫目廣ク上リタルハ疵也

縫目トハ陰囊ヨリ肛門ニウリタル筋
ノ支也其筋ノ廣ク上リタルハ先相ス
ル所ノ見クルレキカ故ニ疵トハスル者也
又如其ナルハ肥ヘカヌルモノナリ

縫目片方ヘヨルハ切曲ノ躰也

此ノ縫目斤方へヨリタルハ曲体トスル
ナリ其方へ切レルカ斤ハコナルモノ也
然レ此又足ヲ相スルニ傳有珠目ノ
寸カ津守ノ寸カ一室可テ縫目右ヨリ
タルハ釣合故ニ不苦左右此ニ右ノ
心得同断也左モナリコナ斤寄タルハ
曲体トシテ是ヲ嫌フ者又ナリ

股切

馬ト肩拔馬トハ大疵也
是ハ股キレノ馬トハ疵起股ノ肉切レテ
皮骨ハツカナクアリタル馬シ瘡治
シテ平愈シタルシ指テ股切レノ馬

ト云也故ニ遠行ニ勞レ又風雨寒暑
各ルカ故ニ疵トス其相スル処目ニ立
モノナリ又肩拔馬トハ鏡臺骨離レ
テ其骨向工肉血入テイヘタルヲ指テ
肩々キ馬トハ云フ者又ナリ股切レヨリハ
猶大キナル疵也肩ナキ馬ト云フモ是
ヲ云フ者也

股

斤方肉薄キハ疵也
是モ之疵也其肉ウスキ方ノ筋足目立
テ見苦ク又其方ノ足踏付ヨハク足
ウカ故ニ是ヲ疵トハスルモノ也

猿股押也

是ハ股ノ肉丸右尾ニソケテ猿ノ股ノ如クアルヲ指テ云フ也相スル所アリキ故ニ押トスル也然レ筋太ク骨堅キ時ハ苦カラスト知ルヘシ

目取ノ骨ヨリ臍冷ノ筋テテ直達ナキハ押也

是ハ押也其所直達ナルハ早キ姿也直達カハサルハ馳足速キモノ也故ニ平馬ニハ免之上体ニハ押ト知ルヘシ

山崩峯トシ喪門トシ隘道トシ退原トシ矢負トシ

戰鬥トシ尾懸トシ走トシ死門豹尾トシ木旋毛疵也

右ノ疝トシ其理十字録ニ委ク是ヲ説ルカ故ニ今爰ニ更ニス

右ニ十四疝也以内疵トナス所七箇所曲疝ニヶ所押トナス所八ヶ所也

尾品 疝曲押

尾骨長過タルト短過タルト純合ノ曲尺ニ外ニ時ハ大成押也

是ハ兩撮疝押也二十一ノ曲尺揃タル駿馬ノ純合ノ内ニ委ク出タリ其純合揃イタルニ外レテ是短ナルハ上疝ニハ大丸疝

トスル丁也故ニ平馬ニハ不苦尾ノ長過
タルモ短カスキタルモ々、尾撮アシク
見ユルカ故ニ是シハ押トスルト知ルハ
キモノ也

尾骨丸キハ押也

尾骨ノ丸キハ尾ノ密次キナルカ故ニ是シ
押トハスル吉又ナリ然レモコレハ尾骨強キ
モノナリ又ニハ尾掛ハツレナルモノ也

尾骨躰ニ勝テ太過タルハ疵也

是ハ疵也必ス尾少キモノ也甚見苦
クレニ惡キ故ニ是シハ疵トハスル丁也

狼尾大曲躰也

是ハ狼尾ト云フハ狼ト云歎ハ日ノ出ル可
リレテ日ノ入り迄ハ尾シ股ニ引込テ日
暮ニ夜ニ入ト尾シ指上ルモノ也故ニ尾
シ股ノ内ニ引込タル尾フリシ指テ狼
尾トハ号ル也是ハ心ニ含ム惡ム氣アルカ
故ニ危ノ如クハナスモノ也故ニ大曲躰ト
ハスルモノ也

雞尾押也

是ハ鳥ノ尾ノ如クニ尾ノ中高ク未細
ク下テ鷄ノ尾ノ如クアルモノ也常ノ

尾ノ如クナキニ依テ是シ押トハスルモ
ノ也然凡鷄尾ニテモ其取ノ宜クアル
モノハ強ニ是リ惡キト云ニハ此ス其
指攝ノ姿ニヨリテ不苦

牛房尾之疵也

是ハ漢ニ云驛也倭ニ牛房尾ト云尾
筒ノミ有テ其毛又ケテ短キ毛ノミ
アルモノ也相スル処至テ見苦しキカ
故ニ此トス古傳ニ曰駸馬ノ二歳ニ
シテ會交シナシテ其駸シ生レタ
ルハ五歳ニ至テ尾ノ毛抜テ驛トハ

ナルト知ルキモノ也是ハ駸ヲ相スルニ
トツト秘傳也

卷尾曲躡也立尾ニ振ハ馳ノ躡也馬ニ依テ
押也

是ハ惡氣シ持カ故ニ尾ニ其情シ顯ス
也左右ニ廻シテ振ハ乘人ノ氣シ斗ル
ナリ故ニコレシ曲躡トスル也然レ凡
物体宜ク此キ有テ馳地道ノ内ニシテ
卷尾ニスルハ落合タルトキハ馳出ル
テアルモノナリ尤振ナルハ曲体ニハ此ス
氣ノ怒リニテ尾ノ如クナスモノナリ

又立尾ニ振ルハ馳ノ躰トハ行ント欲スル
氣シテ卷シテ見スル姿也亦卷シ尾立尾
ニ依テ上柄馬ノ姿ヲ知ル者アリ常ハ
尾掃能シテ直ナキニ卷シ尾ニスルハ小
腸ノ煩也立尾ニスルハ大腸ノ病ト知
ヘシナリ

尾波押也

是ハ尾波トハ尾ニ精ナキ馬ハ尾ノ毛ノ
波ノユルカ如クエレ動カ故ニ尾掃アレ
ク見ユル故ニ押トスル也

曲尾尤右尾ニ似也

是ハ先相スル所見著シキカ故ニ疾トス
亦其曲ル方ニ氣入片ニ曲シナスモアリ
又其ニカノ口強キアルモノ也

揚尾下白キハ大疵也

是ハ白穴ノ類也陰白ナルカ故ニ是ヲ大
疵トハスルモノ也
尾上過ハ疵也

是ハ則十字録ニ委ニ説タル也

右十三躰也其内ニ疵五ヶ所曲体ニヶ所
押共同所也

四波四蹄呂 疾曲押

襟本ヨリ筵子ノ節ニテ皮厚ク鏡節見
ハサルヤウニ皮窳クハ大疵也

其皮厚キハヒタトコロヒ倒テキタル馬
右ノコトクソコノ皮レコウニ厚クアル
モノ也又鏡節ノサカイ見ヘワカスワ
カチナキカ如クニ皮ノタフワクヤウニ
窳キタルハコレモノタヒクヒサヲキテ
其皮タルシタルト知ルヘシ必ス其ノ
馬ハ躓キ倒ルアアルカ故ニ是シ大
疵トハスルモノ也

襟同上ヨリ竝ニテ廣過タルハ押也

是ハ相スル所アリク地本ニテ廣過
タルカ故ニキエウニ足ヲ運其ウハ此
ノ馬ハスヘリ道ニシテ足ヲ踏立ル
古又ナラズレニスヘル古又アルカ故ニ是
シ押トハスル也

襟同上廣ク地際扶ク踏付ルハ疵也又襟
同上扶ク地際廣ク踏付モ疵也

地際扶クシテ踏付ルハ巴カ蹄シ以テ
モニ前ノ蹄ノ内ノ方ヲ踏リシテア
シ、又時々躓クアアテ遠路ニ草干卧
ルモノナリ又相スル所モ慮レキカ故

二是シ疝トハスル也 俗ニカサ子ルナト云
亦襟ノ上ノ向挾ク地際廣踏付ル前
ノ踏迄廣過タルト同シ相ナルカ故ニ踵フ
ナリ前ノハ押トナシ是ハ疝トスル古又ハ
前一段ハ上ヨリシ子ニ踏廣ニ生シタル
故ニ押トナス是ハ古心ニ地際ニテ廣カ放
ニエテ泥路ニテスヘルヲ有ルカ故ニ疝ト
ハスル古又也 博勞ノ言ハニ手ビロト云

鏡節 高ク付タルハ押也

駿馬ノ相ヲ記シタル書ニ前節サカリ
テトモ節高ク純合タルヲ宜キト説

是ハ前足ヲ運走遲キモノ也故ニ鏡
ノ節高ク付タルハ押トスルモノ也

鏡節 斤方上リ斤方下ルアリ同節一方
大キ一方小成アリ何レモ疝也

是ハ其生レ不具ナルカ故ニ疝トハスル
ナリ純合アレキカ故ニ運モアレキモノ也
鏡節ノ皮厚キハ大疝也膝ノ皮厚キモ同断
也勿論疝ハ大疝ト知ルヘシ

是ハ前ニ説ル如ク度々倒テ膝ヲ折ハ
皮厚ナルカ故ニ疝也又膝皮レコウテタ
コノ如ク成リタルハウイニハ之則スクスノ

馬トナツテ行変不成馬スタルカ故ニ
是ヲ大疵トハスルモノ也

牛膝押也

是ハ鏡ノ莖ヨリ上フトク大キニ見ヘテ
莖ヨリ下骨少シ細ク勿論膝ヨリ下
曲シテ牛ノ膝ノ如クアルカ故ニ是ヲ牛
膝トハ号ルモノ也シカノ如ク生レタル馬
ハ立コタヘスル変不叶又膝アルヒスル
モノナルカ故ニ惡キ也然レ其相ナクハ
是ヲユルシテ押トスル也

膝節ヨリ下ハカク骨細キハ大疵也

是ハ牛膝ニハアララスレテ莖ヨリ下
勝テ細キハ早ク劣ルカ故ニ大疵トハス
也又後ニハ血落テスクレ馬トナルモノ
ナリ仍大疵トハスルモノ也
鏡節ヨリ下向フノ毛生合タルハ曲躰也勿
論鏡節ヨリ下裏筋ノ毛生合タルモ曲
躰也

如共生レタル馬ハ前足キースキテ舎人
シ前足シ以テ向ヘ打タシシ或ハタキタ
シス変アルカ故ニ曲体トスルモノ也
夜眼ナキハ持人ノ凶也大疵也

是シ凶也ト云々夜目ハ馬性シ得テ
生スルヨリ則夜眠アリ夜目シ以テ
丈先シ照テ夜ル行モノ也馬ハ日ノ精
タリ其精衰レテヨメニラコル故ニ夜
目玉先ヲ照スト孔子家語爪俗通
等ニモ出タリ其夜目ナケシハ世畧ク
ラク暗夜ニ燈ヲウレナフ如クアルモノ
ナルカ故ニ乘人ノ凶トハナル古又也和
漢氏嫌フ相ト知ルハ是シ相スル也
三歳ヨリハ大和ニツイテ是シ陽明胃
経ノ灸所トシテ是ヤクカ故ニ相シ

カタシ當歳ヨリニ歳迄ノ内ニハ灸シ
セサルカ故ニ有無ヲ能相スル下ナリ
安レト也

托臆大底也

是ハ鏡ノ節ヨリ上肋骨迄ノ間ハ丸ク
節ヨリ下ハ骨平クアルカ且キモノナリ
然ルシ節下ノ骨丸ス子ナルハ生シ惡
キ也其ノ馬必ス血落テアレク衰筋ハ
リテ後ニハ行古又モ不叶故ニ是シ大
疝トハスルモノ也

横腕由腕至热腕ニウ尾ニ大疝也

是ハ横腕ハ牛膝ノ如クニハ水スレテ雞
子骨ヨリ下ノ所横ニ踏タルシ横腕
トハ云フナリ外ハ曲ワテ踏也不達者
ニシテ踏付悪ク又腕レリト云病生
スルモノナリ曲腕トハ内ノ方ハ爪ヲ
ヒナワテ腕口曲ワテ踏付ルモノナリ
故ニ曲リ腕トハ云也横腕ヨリハ猶ア
シキ也是ハ遲滯スル身也惣レテ雞
子ノ節ト爪迄ノ間曲ニテ見ユルハ
皆曲リ腕ノ類ニシテ血ムラ来ルカ故
ニ大疝也又發熱腕トハ龍ノ毛ナキ

シ指テ云フナリ此ノ腕必血落ルモノナル
カ故ニ是モ疝トハスル古又也

裏筋張リタルハ大疝也

是ハ裏筋ト云フハ二ノ脛ノ裏ノ方ハ小
骨ニテ筋シクサリタルモノ也強ク謹
ニス子ニ筋レキテハ其筋ニ血来テハ
レテ肉ノ如クナルシ指テ是ハ裏筋ノ
張タルト云フ古又也後ニハスクヒ馬ト
ナルカ故ニ大疝トハスルモノ也

折目切タルハ疝也血切ハ當分ノ疝也

是ハ折目切トハ前足鏡ノ節ヨリ後

方ノ折目切タルシ指テ云フ也鏡蓋
後也是ハ湯洗シ常ニヨクナサハル馬
アルモノ也是ノ経絡滞ツテ不順ニ
ナルカ故ニ切レ、モノ也其切レ様横ニツ
モミツモ切レテ瘡フタ、チテアルモ
ノナリ歩ムニ痛カ故ニ疔トハスルモ
ノ也又血切レトハ夏切レテ指テ云フ
也瘡フタ、チテ切レテ是モ歩メハ
血少ニシムヲ指テ血切レトハ云フナリ
當分ナルカ故ニ是ニハ愈薬シ附ル則
治スルモノナリ

皮虫之瘡也直リテモ毛生カヌル者也惣皮
虫ト痛或ハ出肉鱗状四之類ハ辨ノ内何者
ニアリテモ疔也

是ハ皮虫ト云フハ皮肉ニ惡熱アツテ
其所ツカユカリテスリ破リ段々
後程猶其所大キニ成リ指テ云フ夏
也虫ノサセハカユクナルカ如ク皮肉ニ惡
血アツテカユトシ生スルカ故ニ是ヲ子
テ皮虫トハ云フ夏也虫ノアルニハ爪ス
皮シスリキレハ直リテモ毛ノ生サ
ルカ故ニ猶疔ナリニ瘡ハコフ也見苦キ

カ故ニ疾トス出肉トハ痛ノ如クニ疾ス
ヤハフカニタコノナリノ如クニツオミテ
肉斗ナリ出タルヲ指テ出肉トハ
スルモノ也是モ亦相スル所ノ惡キカ
故ニ疾トス又 篤モ頰目及陰囊肛
門ニアルモノ也是亦見若シキカ故ニ
疾トカスルモノ也

添節 骨節附骨ノ三ツハ疾也前後
同断

是ハ流節ハ上ノ節ヨリ出ルヲ指テ
云フ也上ノ節トハ鏡ノワレノ又ナリ

骨節ハ添節ニテモ附骨ニテモア
レカレ細ク骨ノ長ク出タルヲ指テ云
フ也附骨ハ骨ノ内ニ骨ニ燻立テ
有ツ指テ云フ何モ骨ニ病アリ痛ア
ルカ故ニ如疾有モノ也故ニ是ハ何モ疾
トハスルモノ也

袋血 覆盆子血 後腕 虎四ツ物ハ疾也
前後同断

是ハ袋血トハ腕クモ半鬚毫ノ毛ノ出
上ニアルモノ也其血ヲ押テ見レハ和カニ
タツアリトアルヲ指テ袋血ト云フ

是ハ治スル血ナリ 西復盆子血ハ右ノ所
ニ覆盆子ノ膏ノ如クニテヨレホリト
升ヨリ見ヘテ血カタニツテ見ユル也
コレハ治スル血ナシ 沓絞リトハ沓掛
ノ所ニ上痛ノ如クニ成テ亦破レテ惡
血アルヲ指テ沓絞トハスルナリ 腕尾
トハ前ノ血段々ニユツテ腕ノ所肉カ
サナリ其所肉太ニハレシユツテ腕ノ
ツハノ如クニナルヲ指テ腕尾ト云フ也
大ニハレルホト馬行直不叶ハモノ也
故テ疝トスルナリ

中臂下リタルハ押也 中臂狭クヨリタル
モ押也

後ノ鵠鼻骨ノ直也 此骨下リタル
馬ハ後ノ蹴込不足ナルカ故ニハカシト
ウヌ又泥路ニ落テ急ニ上ル直ノ惡カ故
ニ是シ押トスルナリ 駿馬ノ取ヲ記セル
書身頭欲舉ト有モ此ノ所ノ骨高ク付
テ稱羨レタル直也 故ニ下ルハ悪キ也 又
中臂扶クヨレハ臂シヌツテハカクトラ
ス又踏付ノ所外ハ文字ニ踏カ故ニス
ヘル直アルモノ也 故ニ押トハスルモノ也

節ヨリ下直ニ立テ押也節ヨリ下屈過タ
ルモ押也

是ハ解ノ二ノ脛立テ見エルヲ云フナリ
尾先ニ必ス解ヲタウルカ故ニ連帶ノ姿
也仍テ押トスル又節ヨリ下屈過タル
ハ足弱カ故也屈投込ト云フニハ爪ス弱
カ故ニ押トスル也

鵞

鼻骨一方ハ高ク一方ハ下ク付テ疾也

是ハ曲リカ故ニ拍子乗心悪ク又相立
処モアレキカ故ニ疵トハスル也

鵞

鼻骨ヨリ下ハカリ内骨細キハ疾也行方

骨

細キモ同断

是ハ上ニ肩ヲスクレテ下細キハ弱姿ニ
シテ又相スル所モ悪キカ故ニ疵トハスル
也

後足片方短キハ疾也

是ハ馬形則曲テ行カユヘニ大イナル
疵トハスル也

鵞

鼻骨ヨリ下ノ向毛生合タルハ曲ハ疾也同

鵞

鼻骨ヨリ下叢ノ毛生合タルモ曲也

是ハ向ハ生合タルハ前ハ折ハケク曲アル
モノ也故ニ是ヲ孺也同鵞鼻骨

ヨリ下裏ノ毛生合タルモ澄々シス曲
アルノ相ナルカ故ニ是シ嫌フ古又也

雁 強目疝也

是ハ雁ノ足ノ節ノ如ク鶴ノ鼻骨クサ
リタルシ指ニ云フナリウカヒスルムカ
故ニ骨ノ強目弱ニ曰リテ疝トスル也

下節大疝也

是ハ鶴ノ鼻骨ニツケテ節亦一ウ皮ニ
カクレテ下ノ方ニアリス指テ下節ト
ハ云フ也後ニハ骨ノ痛シニ思キカ故ニ

是シ大疝トハスル古又也

鳥足 通合血曲 他血ニツケニ疝也

足ハ千貫ノ馬ニ足ニツケテ古トヨリ大
キニ嫌フ也鳥足トハ鳥頭ノ上ヨリ
股ノ方ヘ肉ノイウハクニコウテアルシ
指テ鳥足トハスル古又也スクシテノ行
莫不叶モノナリ通合血トハ鳥頭ノ
上脛ノサクレタル所ニ血ホツトリト
有シ指テ通合血トハ云フナリ世ニ通
合張タルト云フ也曲他血トハ鳥頭ノ
下ノ節ニ添テ血アルヲ何レモ疝ト

知ルハシ

鳥足疵也後足高拳躍ル故悪敷也

是ハ難ク是ノ如ク足トリツスルシ指ニ云
フ也進キ歩ニシテ相スル所モ悪キカ故
之疵トハスル也又也アテリ是シ高ク取
故遠路ニ草臥ルモノナリ依之疵ト
スル也

駒痺疵也

是ハ疵ト云フハ馬少ニ疵ヨリ引出スニ
歩行シテ後能行シ指テ駒痺トハ

スルコト也右書ニモ云クシキシ痺テ
不越ハアレキ馬也不乗モノト相スル
モ疾ノ又也

腕者伸過腕首詰過腕首立過腕者敷
過タル四ツ物ハ押也前後同断

是ハ腕首トハシツトリノ変也爪ト半
鬃鬣ノ毛トノ間ノ細キ所ヲ指テ腕首
トハ云フ也其処ノ伸過タルハ足弱シ
故ニ是シ押トスル也腕首詰過タルハ
キコハコシテ働キ悪シキ故ニ押也又腕
首ノ立過タルハ爪シ強ク蹄力故ニ其

コタハ別肩ニ管ニ後ニ肩シ痛カ
故ニ押トスル也腕首ノ敷過タルト云
フハ餘リニ腕首伸甘クハ押ノ爪トキ
ク生ルカ故ニ毫ノ毛地ニ付カ如クア
ルモノヲ指テ腕口敷過タルト云フ
夏也ハヤク血ノ落ニアレシキカ故ニ押
トハスル夏也前後ノ足ニ同新ナリ
爪株ノ出タルハ疥也
是ハ爪キハレコウニ出タルヲ云フ夏也
必後ニ爪カサ出キニ爪又ケルモノ成
カ故ニ疥トハスルモノ也

大爪ハ腕ニ勝タル大蹄ヲ云也小爪ハ腕ニ
負タル小蹄ヲ云也其外曲爪敷爪反爪
猫爪白爪四蹄ニ蹄
白キハ大蹄也拍爪平爪坪爪生母貝
爪十一種ニ疔也

是ハ大爪ハ書面ノ如ク疵也小腫大蹄
ヒトツノ鬣ナリトテ相身経ニ毛五鬣ノ
内ニモテ悪キ也爪大キナルハ早ク骨
ニテ遠行ナリカタシ小爪ハ腕ニ負タル
小蹄ヲ云フ也是ハ爪ニ痛ニアレキカ
故ニ疥也曲リ爪トハ曲ウニ蹄カ故ニ
遠路ニ歩テ常レ泥エニスハ夏アリ

敷爪ハ押ノ爪ヒクキカ故ニ血落テ悪
シ及爪ハ浅裏ナルカ故ニ反テ裏シ
痛故ニ悪キ也又白爪トハ爪ノ生弱シ
白キハ肺金ノ色也爪ハ肝經ノ持所
コレヲ肝ハ青キツ赤トスルナリ其
所ヨリコレヲ白キハ肺色肺ニ肝ウタ
レタルカ故ニ爪ノ性弱キ也コレニテ一ツ
白キハ歸脾何レニコレモ大疝ナリ是陰
白ナルカ故ニ嫌フ也指爪ハ指ノ葉ノ
毛ト出ル如クニアル色也コレモ爪ノ性
弱キカ故ニ是ヲ嫌フ也爪ハ爪ハ毒ニ年

大爪ト云フ也裏堅ク浅裏ニアラカ
レハ不苦淺裏ニテ向キタルハ悪シキ
也又ソイヌキ爪トハ爪ニ節アリツテ
ツラスキタルヲ云フナリ嫌フ也

右十一疔ニ疔也ト知ルハキモノ也

堅切横切尻外合割裏虫浅裏何レモ

六疔ニ疔也

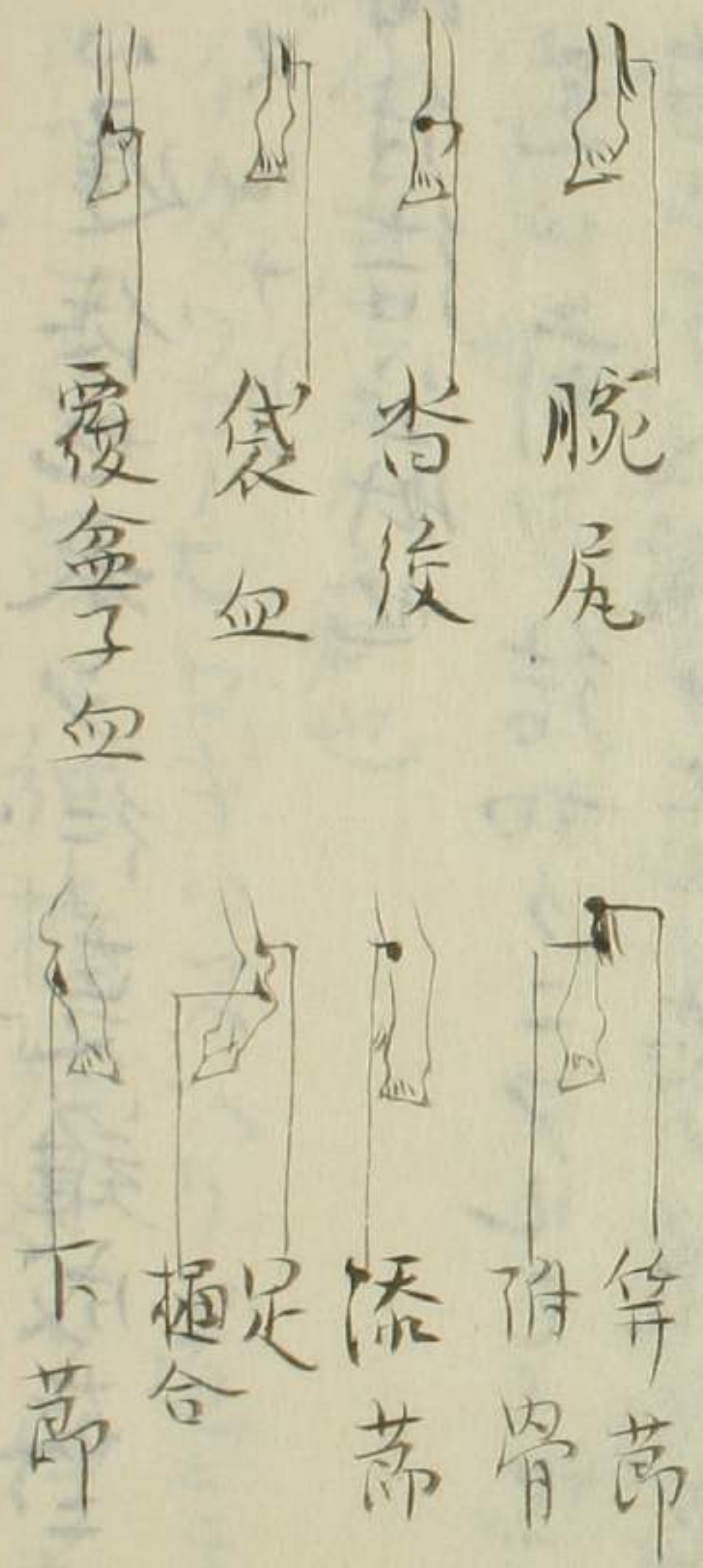
是ハ堅切ハタテレノハレノ下也其ハヒ
レ上迄通ハ三年コレテモ治スルナキ
工ハニ疔トスルナリ横切ハ後ノ方ヨリ
爪切割タルヲ指テ世ノ間ニ横フツ

切レト云フ爪ノ支也。惡干也。尻戶外ト
 押ノ爪ナクシテ背杖ノ所地ニ付シ
 指テ云フ也。惡シ、合刺ハ背杖ノ所ハ
 レテ痛クウシ出ルヲ指テ云フ也。是ハ
 新々ナルハ療治シテ治スル支也。古ハ
 不治ルカ故ニ惡キ也。裏虫ハ爪ノ裏ホク
 ホクトクキラ白クカクルヲ指テ裏
 虫クヒ爪ト云フ也。後裏ハ爪ノ裏イ
 ツハイニ成テクルコ。取ノワクレ見ハ分
 カルヲ指テ後裏爪トスル也。石
 ニカ、ワニ仁支也。是六ツトモニ疾也。

氣餘死過足腸過ニ旋毛疔也

此ハ毒ヲ十字歸ニ説ル也

四肢之(四) 是此ノ支前ニ説ルカ故今支ニ
 畧ス



右七十四躰之内疔五十九ヶ所由躰四ヶ所
 押十一箇所也

踏付品 前後疵押

前踏付重子ルハ疵也

凡シ重子テ踏カ如ク行シ云フナリ是
ハ遅体也水シ行ヌ難成故ニ是シ疵ト
スルナリ

同踏付結ハ疵也

是ハ前シ結如クニアルモノ也丸ノ足ハ
右ノ方へ踏ナヒム右ノ足ハ丸ノ方へ踏
ナヒクシ指テ結フトハ云フ也コレハカシ
トラス又野草ノ深キ所シ行ニ草カ
足ニカラニニ其行ヌ又下ラハカトラス

ルモノ故ニ疵トハスル又ナリ

同踏付割ハ押也

是ハ外へ割用テ踏カ故ニコレモ遅キ体
也又泥土ニスヘルアアルカ故ニ押ハラス
ル又也

同踏付廣キハ疵也

イタツモノモヒキハスヘリ道ニテエニスハ
ルアアリ或ハ細橋細道シ行ヌ又アタハ
ス故ニ是シ疵トハスル又也

後踏付扶キ押也

舁ハヒロキシ吉トス扶キハ蹴ニシカイナ

キコへハカヲトラス故ニ押トスル也

同踏付廣ク鵝鼻骨扶キハ底也

是ハ解節シスウテ地本ハカリ廣キ
カ故ニ解弱ナルニヨリニ底トハスル也
也俗ニ云頼朝トモト云フハ女ノ解ノ也
シ云フ也

同踏付弱ク鵝鼻骨シ揺ルハ底也

相スル所シカノ如クアルハ解弱ナルモノ
コハ底トハスル也

同踏付尾崎ニ残シテ蹴込サルハ押也

是ハ踏込サルカ故ニ解足残テ尾先ニ

立テ見ユル也
遅キ体成カ故ニ是ヲ押
トスルモノ也

右八体之内ニ底五ヶ所押三ヶ所也

同治八年八月... 同治九年... 同治十年... 同治十一年... 同治十二年... 同治十三年... 同治十四年... 同治十五年... 同治十六年... 同治十七年... 同治十八年... 同治十九年... 同治二十年... 同治二十一年... 同治二十二年... 同治二十三年... 同治二十四年... 同治二十五年... 同治二十六年... 同治二十七年... 同治二十八年... 同治二十九年... 同治三十年... 同治三十一年... 同治三十二年... 同治三十三年... 同治三十四年... 同治三十五年... 同治三十六年... 同治三十七年... 同治三十八年... 同治三十九年... 同治四十年... 同治四十一年... 同治四十二年... 同治四十三年... 同治四十四年... 同治四十五年... 同治四十六年... 同治四十七年... 同治四十八年... 同治四十九年... 同治五十年... 同治五十一年... 同治五十二年... 同治五十三年... 同治五十四年... 同治五十五年... 同治五十六年... 同治五十七年... 同治五十八年... 同治五十九年... 同治六十年... 同治六十一年... 同治六十二年... 同治六十三年... 同治六十四年... 同治六十五年... 同治六十六年... 同治六十七年... 同治六十八年... 同治六十九年... 同治七十年... 同治七十一年... 同治七十二年... 同治七十三年... 同治七十四年... 同治七十五年... 同治七十六年... 同治七十七年... 同治七十八年... 同治七十九年... 同治八十年... 同治八十一年... 同治八十二年... 同治八十三年... 同治八十四年... 同治八十五年... 同治八十六年... 同治八十七年... 同治八十八年... 同治八十九年... 同治九十年... 同治九十一年... 同治九十二年... 同治九十三年... 同治九十四年... 同治九十五年... 同治九十六年... 同治九十七年... 同治九十八年... 同治九十九年... 同治一百年...

